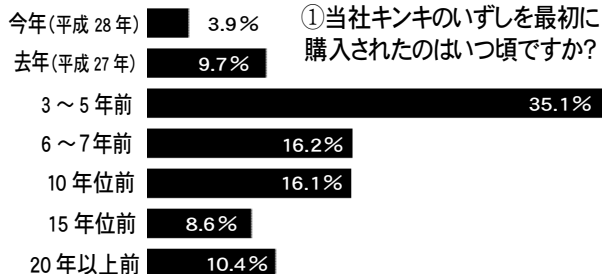
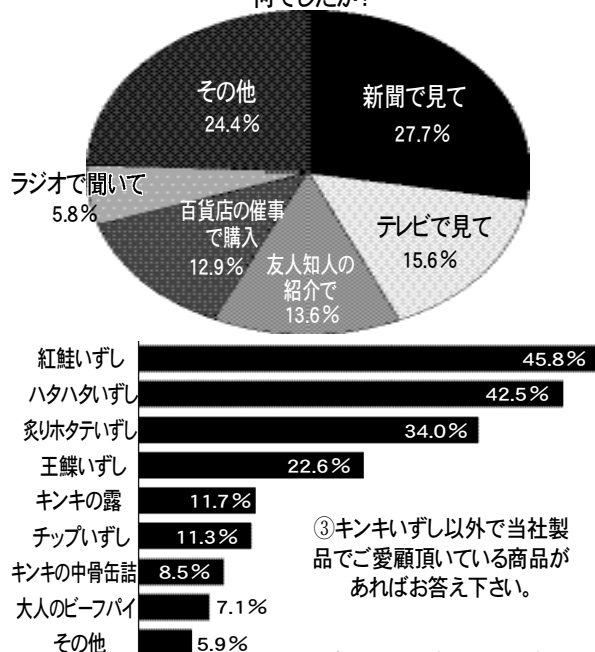


男性購入者が6割占める

4割が10年以上リピター



②最初に購入するきっかけは何でしたか?



③キンキいずし以外で当社製品でご愛顧頂いている商品があればお答え下さい。

当社中井英策商店では、昨年当社製品を通販でお買い求め頂いているお客様を対象に、ご購入実態を調査するアンケートを実施、このアンケートは、当社が独自に行ったもので、数は七百七十九通となった。質問①当社のキンキいずし

紅鮭、ハタハタ、ホタテいずしも人気

最初のきっかけは新聞、テレビ

第1回当社お得意先アンケート

「きんきん新聞」第21号
2017年(平成29年)2月5日発行
発行:(株)中井英策商店
☎(0142)24-2934
メルアド kinki@nakai-shop.com

しを最初に購入されたのはいつ頃でしょうか?

最初に、「当社のキンキいずしを最初に購入した時期」について聞いたが、三

く五年前という回答が最も多く、次いで六く七年前、十年位前と続いている。全

体の三三・八%が「十年以上前」と答える等、一〇年以上にわたって長くお付き合い下さっているリピーター客が支えて頂いていることを表す結果となった。

質問②その時に購入されるきっかけは、何でしたか?

では、実際その時に購入されるきっかけとなったのは、「新聞で見ても」が最も多い二七・七%、次いで「テレビで見ても」友人知人の紹介で「百貨店の催事で」と続いている。

質問③当社キンキのいずしを食べられる時は、主にどなたと一緒に食べられますか?

ここでは、当社キンキいずしを食べる時の状況を聞いたが、「ご主人または奥様と二人で」が最も多く、次いで「家族三人以上で」「家族や友人など五人以上

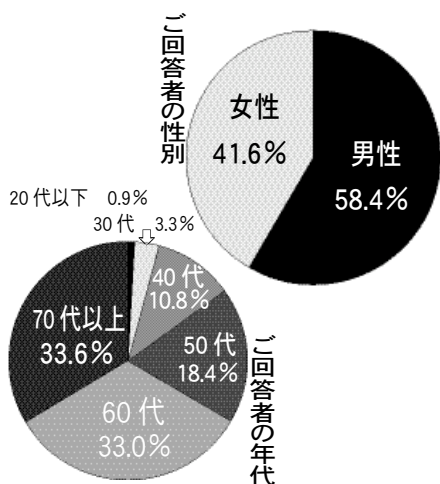
で」が続く。「一人で静かに食べる」とする回答は、僅かに七%にとどまった。また、贈答品だけでご購入頂き、「自分では食べない」とする回答も二〇・三%と多かった。

質問④当社製品で、キンキのいずし以外でご愛用頂いております商品はございますか?

キンキいずし以外での、当社の人気商品を聞いたが、今回は「紅鮭いずし」がトップとなり、「炙りホタテいずし」が肉薄している。また「ハタハタイずし」「王鰯いずし」(マツカワいずし)も上位を占めたほか、テレビで相次いで取り上げられた効果もあってキンキの魚醤

「きんきの露」もジワジワと人気が高まっている。なお、今回のアンケート回答者の内訳で、お住まいは全体の四割近くが「札幌市内」道外客は全体の六%だった。また、性別は全体の約六割が男性、年齢では七十代以上が最も多く、「五十代以上」の中高年の方が全体の八五%を占めた。

①回答者の性別

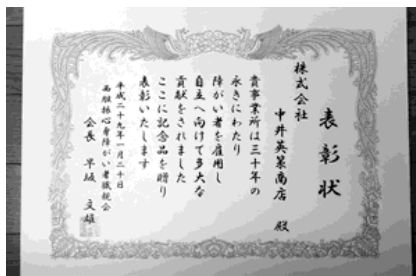


いずしファンは五十代以上85%

障がい者雇用で表彰

30年継続雇用を評価

中井英策商店



当社(株)中井英策商店は、このほど地元伊達市内で行われた西胆振心身障がい者職親会表彰式で、三十年間にわたって

て障がい者を雇用して来たことを評価されて永年障がい者雇用者表彰を受けた。職親会は、障がいを抱える従業員を雇用する企業の経営者を中心に、それを支援する行政や支援機関などで組織されている団体で、今回その団体から表彰を受けたもの。

表彰式で、当社及川社長は「障がいを抱える従業員からも日々学ぶことは多い。これからも気持ちをも一つにして良い職場作りに努めたい」と語った。



朝のNHKテレビで紹介された当社「昆布のぐいのみ」(同番組から)

お酒を入れた昆布のぐいのみ



当社の隠れたロングセラー商品「昆布のぐいのみ」が、

当社の特許商品 昆布のぐいのみ再び脚光

全国テレビで紹介される

昨年だけで二回も全国ネットのテレビ番組で紹介され、売上が急上昇している。

この商品「昆布のぐいのみ」は、当社の先代社長、現会長の中井英光が開発したユニーク商品で、北海道産昆布を乾燥させて粉にし、それに小麦粉や寒天などを混ぜて生地にしてお猪口の形に成形して乾燥させたもの。

熱燗やお茶を入れると、ほのかな磯の香りが楽しめるという面白グッズで、製法特許取得商品でもある。

この商品が、昨年五月と暮れの十二月にいずれも全国ネットのテレビ番組で紹介されたことから、全国から注文が相次ぎ、品切れの状態が続いていたもので、年明けから製造が急ピッチで行われている。思わぬ人気復活に、開発者の中井会長は「発売から二十年近く経ち、正直売り上げは小康状態だったが、テレビで再び紹介してもらい、人気が復活していることは大変有難い」と笑顔を見せている。

当社昆布のぐいのみは、小サイズが五九四円、大サイズが七五六円(いずれも税込)で当社からも直接購入できる。

当社顧問の

日比野先生が出版記念祝賀会

すし研究集大成を発表

学位も取得



写真上は、日比野先生(左)と夫人(右)が出版したばかりの本「誰も語らなかったすしの世界」

当社が近々立ち上げる予定の任意団体「いずし食文化を守る会」の顧問に就任予定で、当社

のアドバイザーをお願いして、で前京都府立大学日本食文化

学教授の日比野光敏先生の、出版記念祝賀会が先生の地元

名古屋市内のホテルで開かれ、当社及川社長も招待を頂き出席、お祝いのスピーチを行った。

日比野先生は、自身がまとめた「我が国におけるすしの文化誌的研究」で、愛知大学より博士(日本文化)号を

授与され、その成果が書籍として出版されたことから、それをお祝いする会が、地元名古屋市内で開かれたもの。

一月七日の祝賀会には、長年日比野先生とともに教鞭をとった大学教授を始め、数々の研究者などがお祝いに駆けつけた。

先生は壇上「私は余りこういう華々しい席は好きではないが、一つの区切りとして催して頂いたことに心から感謝したい。これからも、私のライフワークである寿司を中心とした日本の食文化の研究をさらに進めたい」と挨拶を述べた。

野良猫達は知っていた

キンキいずし
誕生秘話⑤

人に歴史あり・・・、当社の主力商品としておよそ四十年、お客様にご愛顧頂き続けている「キンキのいずし」。その、誕生から今までの歩みを振り返りながら、今一度、原点に帰ってその美味しさの秘密をお伝えしたいと思います。

書き手は、中井英策商店三代目社長の及川昌弘です。今回は連載の五回目、今回は最終回となります。最後までお読み頂き、感謝申し上げます。

時代が昭和から平成へと移り変わっても、メディアの取材は相変わらず続いていた。

それに比例するように、百貨店での物産展などへの誘いも増えて行った。

道内の老舗百貨店である物産展では、一度物産展初日に地元テレビで当社のキンキのいずしの誕生にまつわる秘話などを特集する番組を放送したことから百貨店の当社の売り

その後はお陰様で、あの時が来るまでは順調にお客様にお育て頂いて来た。

そう・・・あの時、あの時とは言うまでもない、3・11東日本大震災のあの日だ。

あの日、平成二十三年三月十一日は、目前に迫っていた石川県金沢市で行われる物産イベントに初参加するための準備と打ち合わせをしていた。突然な大きな揺れに、ここ北海

受けたからだった。

それでも「元気な体があるだけまし」と誰かが自分に言い聞かせて、前をむこうとしたあの時は、日本国中誰もが辛かったのは言うまでもない。個人的な話をする、私の実の父親の生家が岩手県大船渡市で、今回の被災で多くの親せきが亡くなった。

あれからもうすぐ六年。被災地はまだまだ復興には程遠いが、当社はお陰様で無事にここまで来れた。その間、平成二十六年十一月、全国のこだわりの食品コンクール、農水省主催の地場もん国民大賞で北海道唯一の決勝大会進出を果たし、審査員賞を頂いた。その翌年には、同じく農水省主催の「フードアクシヨニツポニアワード」で「食文化賞」を頂くなど、これまでの地道な努力が評価された。失うものがあれば、得るものもある・・・。

男性が、当社のキンキのいずしを食べることだけが楽しみで、それを買って持って来てくれる娘さんを笑顔で迎えたこと、そして病室の中で楽しい家族団らんの時間を作れたことを報告して頂いた。食べ物作り人としてこのような話は、正に職業冥利に尽きる。ただただ嬉しい一言だ。

当社先代の中井英光現会長が「まずは愛する家族を食べさせるため」に始めたキンキのいずし作りが、足かけ四十年の間で、想像を超える多くの方々にお客様一人お一人に感謝の言葉を伝えたい。

当社が作り育ててきた「キンキのいずし」が、食卓を囲む平和な家族団らんの景色を作り出していることに改めて深い感慨を覚えるとともに、これからも大切な役割を果たしていることを肝に銘じて、真心想えたいずし作りに精進努力して行きたい。

最後まで読んで頂き、心から感謝申し上げます。中井英策商店は、次の「夢」に向かって走り続けます。

相次ぐメディアの取材やがて多くの百貨店からのお誘いが

場にお客様が殺到、それまで用意したおよそ三日分の商品がわずか二時間で完売するといふパニック状態を引き起こすこともあった。

その売り場では、「テレビを見た」と言っていてやって来た初老の男性が私を見るなり「お宅の社長さんも苦労されたんだねえ・・・頑張っ

て下さいねえ」と涙ぐみながら語りかけてきてくれた。私までウルツと来てしまったことを今でも鮮明に覚えている。

道伊達市でも襲われた。「これはただ事ではない」とテレビを付けると、あの悲惨な映像が・・・。当然ながら、いつもの日常はその瞬間に失われた。

当然ながら、参加予定だったイベントや物産展などはすべて中止、しばらくは「注文の電話」などは、全く鳴らなくなった。当社の取引先も、被害を受けた。噴火湾豊浦町のホタテ漁師も津波を受けてホタテが壊滅状態になったほか、当社キンキいずしの原料のキンキも全く入らなくなった。全国屈指の水産基地の石巻を中心とする太平洋沿岸が大きな被害を

そんなことをふと思いながら、何よりも有難いのは、このおよそ四十年間、変わらず当社製品をご愛顧頂いているお客様がいることだ。

時代がどんなに変わろうと、人の食行動が無くなることは無い。理屈抜きで美味しいものに出会うことは誰もが幸せに思うことだ。

「食べること」「食卓を囲むこと」が人にとって、家族にとつて、社会にとつて欠かせないコミュニケーション手段であることも不変だ。以前、このキンキン新聞のコラムでも書いたが、病氣入院中で心まで閉ざしてしまっ

「キンキいずし」の親生



当社中井英光会長





中井英策商店社長の及川昌弘です



長髪にギターを抱えた夢見る青年でした

■社長の独り言■ 青春時代に熱中したこと!?

今号から、(株)中井英策商店代表の私、及川昌弘の独り言つらうを連載します。

お付き合い頂ければ有難いです。

第一回目の話題は、青春時代を振り返る・・・です。私は、昭和 32 年 12 月 23 日天皇誕生日生まれの、現在 59 歳です。そうである、今年で「還暦」を迎えます。最近では、若い頃、青春時代を振り返ることも多く、あの時、ああだったなあ・・・とが、あの時もしこうだったらその先どうなったんだろう？なと思うことがしばしばです。

皆さんは、いかがですか？

私の青春時代、流行っていたテレビは、まさに青春ドラマ「飛び出せ青春」「われら青春」「俺は男だ!」などであがね。「われら青春」の中村雅俊さんに憧れて、教師になりたいと思い、大学も教職課程を取ったくらいです。①舎の駅のホームで、ラグビーボールも投げ合うシーンに号泣したことも思い出します。

今では、You Tube で簡単に見られるようになりましたね。時代も変わりました。

結局私は、教師への道ではなく、マスコミの世界へ身を置くことになりました。そして、今は「いずし屋」のおやじです。人生は全く分からないものです。もう一つ、私が青春時代に憧れたのが「音楽への道」でした。ビートルズの映画 3 本立ちても見た後の衝撃はいまだに忘れられません。直ぐに、ギターを買いに走り、友人とバンド練習の毎日、ビートルズのコピーに明け暮れました。

大学時代には、コピーバンドも飽きてきて、自分たちで曲を作ろう!!ということになり、作曲なども始めました。シンガーソングライターを目指そう!!などというバカげた夢を抱いたのもこの頃でした。

そして、ある有名なアマチュアコンテストに出場することになりました。(次号に続く)

"いずし食文化"を守る活動にご支援、ご協力をお願いします!!

お得意先各位殿

前略 日頃は当社並びに当社製品をご愛顧頂き、誠に有難うございます。

このほど、当社(株)中井英策商店では、永年の懸案でありました「いずし食文化」を次世代へ継承し、さらに北海道から日本全国へ、そして海外へ、この優れた北海道の郷土料理を広めたいとの思いから、悲願でもありました任意団体「いずし食文化を守る会」(仮称)を設立し、活動を開始すべく準備を進めております。

その一環として、今月二月からインターネット上で事業の活動資金を募集する「クラウドファンディング」の出資公募を開始致しました。

つきましては、当社のこの思いにご理解を頂き、何卒この任意団体の立ち上げと運営にご支援を賜りたく、この「北海道いずしファンド」へのご出資、ご協力をお願い申し上げる次第でございます。

なお、このファンド「北海道いずしファンド」でお預かりしました資金は、この団体の活動及び、そのプロモーション資金として使わせて頂き、「いずし」という北海道が世界に誇る素晴らしい発酵食品の魅力を残すべく無く伝えて参りたいと考えております。

どうか、お得意先様におかれましては、この活動趣旨にご理解を頂き、出資のご検討、さらに「いずし食文化を守る会」の活動へのご協力を、伏してをお願い申し上げます。

発酵食品がブームと言われる昨今ですが、魚介類を発酵させて造る「いずし」は、若年層での「魚離れ」が深刻な今、若い方々の間では敬遠される郷土料理となっており、その文化継承が危ぶまれております。「先達が造り育てて来た」この食文化を守り抜く為にご理解、ご支援を重ねてお願い申し上げます。

平成二十九年二月五日

「いずし食文化を守る会」事務局
(株)中井英策商店 代表取締役 及川昌弘

【北海道いずしファンド】の詳細は、ファンド取扱社「ミュージックセキュリティーズ」の公式ウェブサイトをご覧ください